太岡寺 畷（たいこうじなわて） の桜 ―― 亀山市

～桜並木で感じる春の息吹～

東海道で最も長い畷道といわれていた太岡寺畷（なわて）。鈴鹿川の左岸に沿って約2kmの道で、かつては左右に松並木が続いていました。

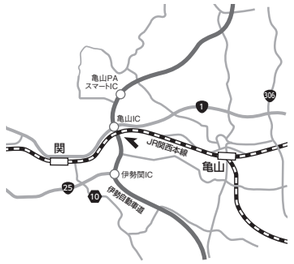
今は桜が植えられ、春には鈴鹿川と調和した美しい風景が人々を魅了します。

亀山宿や関宿から東海道を歩きながら、太岡寺畷を訪れてみませんか。

※4月8日には亀山市桜まつり「桜の名所と歴史ロマンを訪ねる」ウォーキングが開催されます。

【ところ】亀山市太岡寺町（神戸（かんべ）小学校付近）

【アクセス】東名阪自動車道亀山ICから車で約5分



問い合わせ
亀山市観光協会 ☎0595-97-8877
文化部観光振興室 ☎0595-96-1215

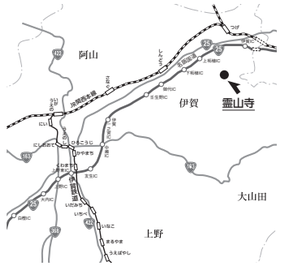
霊山寺（れいざんじ）の桜 ―― 伊賀市

～山を春色に染める500本の桜～

伊賀市には上野公園や桜山公園など桜のお花見スポットがたくさんあります。その中から今回は霊山寺の桜をご紹介します。霊山寺は室生赤目青山国定公園に指定されている霊山の中腹にある寺院で、本堂へ向かう参道沿いなどに約500本の桜が咲き誇ります。4月中旬には「霊山さくら祭り」も開催され、大勢の人で賑わいます。

また、霊山寺から霊山山頂までは、歩いて約1時間30分で到着しますので、お花見ついでにハイキングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【アクセス】名阪国道「伊賀ーC」から車で約10分



問い合わせ
商工労働観光課 ☎0595-43-2309

問い合わせ
甲賀市広報課 ☎65-0675 Fax63-4619
伊賀市秘書広報課 ☎0595-22-9636 Fax0595-22-9617
亀山市広報秘書室 ☎0595-84-5022 Fax0595-82-9685

様々な市民活動を応援します

『自主活動センターきずな』 ～年間登録団体募集～

「自主活動センターきずな」は、甲賀市を拠点に、趣味やテーマ型の活動、イベントの実行委員会など様々なグループが楽しく活発に活動する施設です。

管理人がいませんので、利用者が責任をもって管理する必要がありますが、年間登録をすれば24時間いつでも使えます。

この度年間登録団体を募集し、説明会を行いますのでぜひお越しください。

◇年間登録募集締め切り
3月15日(木)まで

◇新規年間登録団体用説明会
日時　3月11日(日)10時～12時
場所　自主活動センターきずな（水口郵便局前）

問い合わせ・申し込み
自主活動センターきずな運営協議会 ☎63・7310（不在の場合）
地域コミュニティ推進室 ☎65・0687 Fax63・4554

こうか まちかど特派員のページ

こうか
まちかど特派員
桑山（くわやま） 幸子（ゆきこ）

ガールスカウト 聞いたことがあるけれど どんなことをしているのかなあ。

「ガールスカウト」という名前をご存知の方も多いと思いますが、実際の活動は、あまり知られていないのではないでしょうか。野外体験学習や、街中で赤い羽根募金に立つ姿のイメージが浮かびますが、今回甲賀地区ガールスカウト交流会での彼女たちの活動の姿を取材しました。

甲賀地区ガールスカウトは昭和58年11月に発足しました。少女たちと若い女性、若いお母さんたちが自分から考えて、責任ある行動のできる人を目指して活動されているそうです。

最近では、子どもの森に県の事業として植樹をしたり、それらの木々の手入れなどもされています。また、文化祭への参加・成人の日の受付のお手伝い・東日本大震災被災者への募金活動・デイサービス、老人ホームの慰問での七夕祭りやクリスマスなどの行事で歌を歌ったり、ゲームをしたりするなど様々なボランティア活動をしておられます。

昨年12月に甲賀地区ガールスカウトの交流会が開催され、参加させていただきました。この日は、「ガールスカウト成人ギャザリング」という名称の交流会でした。リーダーの池ノ内さんにギャザリングの意味をお聞きしたところ、「果てしなくひだを寄せる」という意味で、年齢の異なるもの同士が目的に向かって話し合いができるということでした。

この日は、「子どもの権利条約について知っていますか。」について話し合いをされました。大学生や主婦からなるボランティアの指導者が中心になり、年少グループ・年中グループ・高学年中学生グループの3つに分かれ、絵本を読んだり、カードに書かれている言葉を見て、心に残った言葉を書き出したりしていました。このような話し合いの中から自分のこと・集団との関わり・自然といのちとの関わり・様々な人との関わりを通して、心を磨き、相手の気持ちを考え、友達と仲良くすることを知っていきます。

始め、年少グループは、「なんや分からない。」「ちょっとややこしい言葉や。」と戸惑いの言葉を連発。高学年のグループは、生きる・守る・育つなど書かれた本を読み、「私たち子どもは色々なところで守られているんやなあ。」「決まりが守られていたら気持ちええもんな。」「どの国でも同じ権利をもってんのや。」など感謝の気持ちや言葉が多く出ていました。私は、皆さんのその姿を見て、ガールスカウトの活動の認識が大きく変わりました。外に出て、キャンプ活動などのアウトドアがほとんどだと思っていたからです。

このような年齢の異なる少女たちが、真剣に考え、意見を述べ、知識を身につけていく姿に感動しました。交流のあとは、家から持参したおにぎりをほおばりながら、普段のかわいい少女たちの姿に戻っていました。

ガールスカウトの様々な活動が女性としてのやさしさや考えを育て、未来を担う女性パワーに繋がると感じました。

女子の皆さん、一度この活動に参加してはいかがでしょうか。